

米国連邦航空局に対する安全勧告

(2012.6.29 安全勧告)

(JA002D 仙台空港の西約 11km 上空 2010.8.15 発生重大インシデント)

運輸安全委員会は、本重大インシデント調査の結果を踏まえ、米国連邦航空局（F A A）がエンジン製造者に対して以下の措置を講じるよう指導することを勧告する。

本重大インシデントでは、第4ベアリング・スカベンジチューブの外側表面を破壊起点とする疲労破壊から破断に至ったものと推定されるが、第4ベアリング・スカベンジチューブはヒートシールドで覆われているため、定例整備では当該箇所を直接点検することはできない。したがって、同種事例の再発を防止するため、第4ベアリング・スカベンジチューブの設計変更、エンジン分解整備における第4ベアリング・スカベンジチューブの検査方法の改善等を検討すべきである。